

■ はじめに

キヤノンマーケティングジャパン製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。
このリリースノートには、ESET Endpoint アンチウイルス V7.1（以降、本製品と記載します）を正しくご利用頂くための情報が記載されています。
本製品をインストールする前に必ずお読みください。

■ インストール前の注意事項

本製品をインストールする前に、以下の内容を確認してください。

- ・ 本製品をインストールする前に、すべてのプログラムを必ず終了してください。
- ・ 本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされていないことを確認してください。本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされている場合は、必ずアンインストールしてください。

■ 製品マニュアルについて

本製品のマニュアルは「ユーザーズサイト」よりダウンロードすることができます。

ユーザーズサイト

<https://canon-its.jp/product/eset/users/>

■ 使用上の注意事項について

本製品を使用する前に、以下の内容を確認してください。

□ リアルタイムファイルシステム保護のアップデート完了前の動作について

本製品をアクティベーション後、アップデートが完了するまではリアルタイムファイルシステム保護が有効になりません。本製品インストール時、必ずアクティベ

ーションとアップデートを行なってください。

□ ミラーサーバーを使用したアップデートについて

本製品をミラーサーバー経由でアップデートする場合は、V7用ミラーツールを使用するか、ESET Endpoint Security V7、ESET Endpoint アンチウイルス V7、ESET File Security for Microsoft Windows Server V7 のいずれかでミラーサーバーを作成する必要があります。

□ SSL/TLS プロトコルフィルタリングの「証明書の有効性を確認する」設定の挙動について

SSL/TLS プロトコルフィルタリングの「証明書の有効性」において、「証明書の有効性を確認する」を選択している場合でも、証明書の有効性が確認できない Web サイトへアクセスした際に、確認ダイアログを表示しない仕様に変更になりました。

該当 Web サイトへのアクセス可否につきましては、ブラウザにてご対応ください。

■ 既知の問題について

本製品には、以下の問題と制約があります。

これらの問題については、将来のリリースで修正される可能性があります。

最新の情報につきましては弊社製品ホームページの Q&A をご確認ください。

ESET 製品 Q&A ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/support/>

プログラムの変更点について

https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/2293?site_domain=business

□ ESET Endpoint アンチウイルス V5 から本製品への上書きインストール時に引き継がれない項目について

ESET Endpoint アンチウイルス V5 から本製品への上書きインストールにおいて、以下の項目が引き継がれずに、本製品の既定値となる事を確認しております。

[Web とメール]-[プロトコルフィルタリング]-[SSL]

- ・ SSL プロトコルフィルタリングモード

[ツール]-[ESET LiveGrid]

- ・ ESET LiveGrid に参加する
- ・ 統計を提出しない※
- ・ ファイルを提出しない※

※上書きインストール時にインストーラーで指定した値に設定されます。

- ESET Endpoint アンチウイルス V7.0 から本製品への上書きインストール時に引き継がれない項目について

ESET Endpoint アンチウイルス V7.0 から本製品への上書きインストールにおいて、以下の項目が引き継がれずに、本製品の既定値となる事を確認しております。

[ユーザーインターフェース]-[ユーザーインターフェース要素]-[アプリケーションステータス]

- ・ Antimalware Scan Interface(AMSI)統合が失敗しました

[診断]-[診断]-[詳細ログ]

- ・ オペレーティングシステム詳細ログを有効にする

- ミラーサーバー機能で、HTTPS 接続のための証明書を指定するとミラーサーバーに接続できない現象について

本製品で HTTPS のミラーサーバーを構築する際、以下の設定項目の「サーバ秘密鍵のタイプ」で「統合」を指定すると、HTTPS ミラーサーバーが起動せず、このミラーサーバーに対して HTTPS 接続を行なうと「サーバーに接続できません」というエラーが表示されます。

[アップデート]-[プロファイル]-[アップデートミラー]-[HTTP サーバー]-[HTTP サーバーの SSL]

本製品で HTTPS のミラーサーバー機能をご利用の際は、「サーバ秘密鍵のタイプ」で「統合」以外のタイプを使用してください。

- ESET Endpoint アンチウイルス 旧バージョンから本製品への上書きインストール時に表示されるアラートについて

ESET Endpoint アンチウイルス 旧バージョンから本製品への上書きインストール後に、「ステルス対策が機能していません」などのアラートが表示され、HIPS、Web アクセス保護、フィッシング対策保護の機能、ネットワーク攻撃保護(IDS)、アンチステルスが上書きインストール前に有効の場合に、該当の機能が停止されることがあります。

本アラートはコンピューターの再起動を行なうことで解消されます。
上書きインストール後は、必ずコンピューターの再起動を行なってください。

- ESET Remote Administrator V6 の「古いモジュールのコンピューター」グループに振り分けられない現象について

本製品で「古い検出エンジン」アラートが表示されていても、ERA V6 上でモジュールのステータスが「更新」となり、「古いモジュールのコンピューター」グループに振り分けられない現象を確認しております。

- ESET Remote Administrator V6/ESET Security Management Center V7 から設定できない項目について

ESET Remote Administrator V6/ESET Security Management Center V7 のポリシーに以下の項目が存在せず、設定ができません。

[ユーザーインターフェース]-[ユーザーインターフェース要素]-[アプリケーションステータス]-[Antimalware Scan Interface(AMSI)統合が失敗しました]

本項目を設定する際は、クライアントプログラム側にて設定を行ってください。

- インストーラーのコンテキストメニューからパスワードで保護された製品のアンインストールができない現象について

インストーラーのコンテキストメニューからパスワードで保護された製品のアンインストールを行うと、パスワード入力画面が出ずプロセスが中断される現象を

確認しております。

パスワードで保護された製品のアンインストールを行う場合は、コントロールパネルよりアンインストールを行ってください。

- タスクスケジューラーで「実行可能になり次第実行する」設定をしている場合の初回実行に関する挙動について

[ツール]-[スケジューラ]にて毎週または毎日実行するタスクスケジューラーを作成し、タスクが実行されなかった場合の動作として「実行可能になり次第実行する」設定をしていると、設定した実行時刻に関わらず、作成した直後にタスクが実行されてしまう現象を確認しています。

また、毎日実行するタスクの場合、前回の実行時刻から 1 時間経過していないと本来の実行時刻になってもタスクが実行されない現象を確認しています。

このため、タスクスケジューラー作成直後のタスク実行時刻と、設定した本来の実行時刻の間隔が 1 時間未満の場合、本来の実行時刻にタスクが実行されません。本来の実行時刻にタスクが実行されるのは、タスク作成日の翌日以降になります。

- タスクスケジューラーで「実行可能になり次第実行する」設定をしている場合に、タスクが 2 回実行されてしまう現象について

[ツール]-[スケジューラ]にて毎週（または毎日）実行するタスクスケジューラーを作成し、タスクが実行されなかった場合の動作として「実行可能になり次第実行する」設定をしていると、前回の実行時刻の 167 時間後（毎日実行するタスクの場合は 23 時間後）と本来の実行時刻の計 2 回タスクが実行されてしまう現象を確認しています。

本現象が発生した際は、タスクが実行されなかった場合の動作として「前回実行されてから次の時間が経過した場合は直ちに実行する」を選択した上で、以下のよう

- ・毎週実行するタスク
前回実行からの時間：169 時間
- ・毎日実行するタスク

前回実行からの時間：25 時間

■ 製品情報

本製品に関する情報は、以下の URL から参照することができます。

ESET 製品ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/business/>

ユーザースایت：

<https://canon-its.jp/product/eset/users/>